

2022年12月26日  
株式会社フコク

## モビリティ百年に一度の大変革に AGC株式会社との共創を開始

株式会社フコク(本社:埼玉県上尾市)は、モビリティの各分野に幅広く部品を提供しております。中でも、ワイパーブレードラバーは、2020年に経済産業省「新グローバルニッチトップ企業100選\*」に選出されるなど高い評価をいただいております。日本国内純正品(OEM)90%、グローバルOEM約40%を超える世界No.1の圧倒的なシェアと品質を誇る、当社の中核事業であります。

今般、自動車用ガラス世界トップシェアを持つAGC株式会社(本社:東京都千代田区)と、同社展示予定の開発品FIRカメラ対応フロントガラス\*\*における評価協力、および今後の実装に向けた共創を通じて、株式会社フコクは「CASE」という言葉で代表される百年に一度のモビリティの大変革に社会実装に役立つ企業として、貢献してまいります。

### 共創ポイント **FIRカメラ対応フロントガラスにおける ワイパーブレードラバー払拭性能の技術課題抽出**

百年に一度の大変革の時代の流れを決定すると考えられる技術展示会「CES2023」(2023年1月3日～8日、米国・ラスベガス)において、AGC株式会社が、次世代モビリティを実現する製品・技術を展示されます。<AGC株式会社2022年12月8日付プレスリリース：  
<https://www.agc.com/news/pdf/20221208.pdf>>

AGC株式会社が展示予定のFIRカメラ対応フロントガラスは、高度な自動運転のためのセンサーフュージョンを可能にする製品です。ワイパー払拭範囲にカメラが配置される予定のため、カメラ前面をクリーンに保つことが大事なポイントになります。ワイパーの役割は従来の「ヒトの視界を確保する」から「カメラの視界を確保する」に変化しており、高度な自動運転を継続させるため、常時確実な払拭性能が求められます。

株式会社フコクはAGC株式会社との共創により実用化に必要なワイパーブレードラバーの評価を実施しており、今後社会実装に必要な最適ワイパーブレードラバーも提案していく予定です。

\* 2020年 6月 30日 経済産業省主催

選定部門：(1) 機械・加工部門 対象：新車装着用ワイパーブレードラバー  
(経済産業省 2020 年度版グローバルニッチトップ企業 100 選)

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/gnt100/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/gnt100/index.html)

\*\* (上記AGC株式会社プレスリリースより引用) 一般的な自動車用ガラスでは透過しない遠赤外線を透過する特殊ガラスを使用した「FIR (遠赤外線) カメラ対応フロントガラス」を展示予定です。フロントガラスの室内側に取り付けられた通常の可視カメラとFIRカメラのセンサーを融合させることで、夜間や悪天候時の歩行者・自転車事故のリスクを低減することが可能となります。

【お問い合わせ】 株式会社 **フコク** 担当：総務部

〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂1-1-1朝日生命ビル2F/3F/8F

Mail : [ir@fukoku-rubber.co.jp](mailto:ir@fukoku-rubber.co.jp) TEL : 048-615-4400